

蘇南中だより



自己を生かす生徒
助け合い励まし合う
知恵を働かす
たくましくやりぬく
令和4年10月1日発行

できることをやってみよう！

校長 今井 竜生

- 「中学生の子が一緒やと元気をもらえたわ。大人もみんな笑顔になったよ。」と、地域の方からお礼をいただきました。夏休みのボランティアで、木曽川左岸公園の整備作業に20名の生徒が参加しました。その様子を写した写真と共に、上の言葉をいただきました。
- 「命を助けられ、本当にありがとうございました。」夏休み中に、学校近くで倒れてしまった地域の方を見て、助けようと動いた生徒とその保護者の方がありました。そして協力した先生方。その行為に対するお礼の言葉です。
- ◎他の人と積極的に関わる中学生の行動が、周りの方の笑顔を生み出しています。
- 2年生は、9月6日から8日の3日間、職業体験を実施しました。事業所や会社・お店などをお願いをして受け入れていただきました。現場でやり取りしたり、教えていただいたりする中で学ぶことはたくさん。園児の目線にあわせて膝をついてニコニコと話をしている姿。お店のたくさんの商品を丁寧にきちんと並べなおしている姿などなど。素敵な姿がありました。中には、遅刻や忘れ物、言葉遣いなどを注意していただいたこともありました。実際に働く場に出た時に、社会人として身につけなくてはいけないことを学びました。
- 1年生の日間賀島研修、3年生の修学旅行も予定通り実施することができました。家庭での体調管理や準備、送迎など、保護者の方のご協力ありがとうございました。たくさんの思い出を持ち帰ってきました。「楽しかった」「仲間と助け合えた」という振り返りがありました。
- ◎まだまだコロナ感染症の心配はありますが、家庭に協力していただきながら何とか行事や体験を進めています。中学生のこの時期に、やってみてわかること、体験して得るものは宝物。できることを考え工夫して、今後も、いろいろな経験ができる場やチャンスをつくっていけるよう取り組んでいきます。(残念ながら、今回参加できなかった人も、また違う機会があります)



公園整備ボランティアの様子



幼稚園での職業体験の様子

笑顔が生まれるときには「感動する・心の動き」があります。「うれしい」「やった」「できた」といった心の動きが笑顔を生み出す「もと」となります。その感動体験のために欠かせないのは、自分でやる気をもって取り組む「活力」です。私たち職員は、どの子どもが「活力と感動」を生み出すことができるよう後期も引き続き、子どもたちに寄り添います。

※10月11日(火)より、2学期制の後期が始まります。今後ともよろしくお願ひします。

※学校の様子は、蘇南中HPにもアップしています。ご覧ください。(ほぼ平日 更新中)